

エクレール〜お菓子放浪記（2011）

メディア 映画
ジャンル ドラマ 戦争
製作国 日本
色彩 Color
時間 105分
初公開日 2011/05/21
映倫 G

【キャッチコピー】

お菓子はやさしさを運んでくる。

【解説】

日本の戦中・戦後を舞台にした小説家・西村滋の自伝的作品『お菓子放浪記』を、「ふみ子の海」の近藤明男監督が映画化したヒューマン・ドラマ。孤児となった一人の少年が、甘いお菓子への憧れを心の糧に、過酷な時代をたくましく生き抜く姿を描く。主演は吉井一肇、共演に早織、いしだあゆみ。

昭和18年、両親と死に別れ、孤児院に暮らす少年アキオは脱走を繰り返し、ついには感化院送りとなってしまう。そこで、暴力的な鬼教官にしごかれるが、女性教師の陽子が歌ってくれた童謡『お菓子と娘』が、彼に生きる希望を与えてくれた。そんな中、里親に引き取られ、つかの間の喜びを味わうが、それでも厳しい現実が待っていた。やがて家出をし、放浪の身となったアキオは、旅回りの一座に加わるが…。

【クレジット】

監督	近藤明男
企画	小野寺勉
エグゼクティブプロデューサー	深津修一
ゼネラルプロデューサー	鳥居明夫
アソシエイトプロデューサー	本間信行
ラインプロデューサー	杉山隆夫
原作	西村滋
脚本	西井史子 泉悦子
撮影	近藤明男 久保田悦郎
美術	中川理仁
衣装	萬木利昭
編集	白水孝幸
音楽	沢田完
主題歌	Rockstar Steady Rockstar Steady
照明	土山正人
録音	今井善孝
装飾	藤田徹
記録	今井文子
監督補佐	是澤邦男

出演

吉井一肇

早織

遠藤憲一

高橋恵子

林隆三

いしだあゆみ

山田吾一

尾藤イサオ

竹内都子

松村良太

太賀

駒田徳広

三上寛

春風亭昇太

嘉島典俊

尾崎右宗

蘭田正美

小野沢智子

満利江

ニコラス・ペタス

山崎未花

江利塚たまみ

杜野まこ

新崎人生

佐藤淳

西村アキオ

陽子先生

野田フサノ